

研究課題 (テーマ)		グローバル人材育成プログラムの開発及び 先進的な英語教育のための教材開発	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	英語教育改革推進チーム 教養教育	英語教育改革ディレクター 准教授	山崎 大介
研究結果の概要			
<p>本学のカリキュラムポリシーでは、「コミュニケーション能力」や「英語運用能力」の養成を掲げている。実際、こうした目的を達成するまでの過程において、「英語の音声を理解するためのリスニング力を身に付けること」や「英語によるコミュニケーションにおいて必要と思われる実践的な発音に慣れること」が極めて重要な役割を果たす。そして、これらを現実のものとする手段として、実践的なプログラムや教材等の開発をすることが必要不可欠なのではないかと考えている。そこで、本研究では、グローバル人材育成プログラムを開発すること及び先進的な英語教育のための教材開発を行うことを主たる目的として、平成 29 年度において、基本的に以下のことを実施した。</p> <p>主な研究遂行内容</p> <p>平成 29 年 4 月から 「グローバル人材育成プログラム 富山県立大学版」実施</p> <p>平成 29 年 5 月 防音室ユニットの調査など</p> <p>平成 29 年 8 月 ロンドン大学 (UCL) の研究者とイギリス国内で「共同研究」 及び「海外特別研修 (英国・ロンドン)」実施</p> <p>平成 29 年 9 月から 本研究 (平成 30 年度版) に向けて準備等を開始</p> <p>平成 29 年 10 月 第 2 回 富山県立大学学長杯争奪 英語スピーチコンテスト 開催</p> <p>平成 29 年 10 月 学内の FD 研修会で本研究における取り組みの一部について紹介</p> <p>平成 29 年 12 月 本研究で使用する防音室ユニットを設置</p>			
今後の展開			
<p>本研究では、グローバル人材育成プログラムの開発及び先進的な英語教育のための教材開発を主たる目的としているため、そのプログラムや教材の効果等について、縦断的且つ横断的に調査する必要がある。そのため、平成 30 年度においては、系統的にデータを収集し、分析等をする予定である。そして、結果として、「海外特別研修」などのプログラムが本格的に導入及び実施されるとともに、効果的に効率よく英語の音声習得等を促進することができる「教材」などを開発することにより、本学が「英語の富山県立大学」として社会の皆様にも認めていただけるくらいの「英語力」を習得できるようになる英語教育を行うための一助になればと考える。</p>			